

災害への備え

あなたは大丈夫ですか？

大雨・台風シーズン到来

「こころがけ」を大切に――

毎年各地で大雨による洪水や土砂災害、暴風雨による被害が出ています。これからの時期は特に大雨や台風が発生しやすくなるため、十分な警戒が必要です。また、今年3月に発生した東日本大震災といったような大地震による被害も考えられます。このような災害から身を守るためには、一人一人の普段からのこころがけが大切です。家の周りや地域の危険個所をチェックし、「いざいざ」というときのための安全対策を考えておきましょう。

非常用持ち出し品の準備

風水災害だけでなく、地震などさまざまな災害に備え、非常用品を準備しておきましょう。食料は1人3日分備蓄するようにしましょう。

- 飲食物（飲料水、軽食）
- 懐中電灯
- 救急薬品（絆創膏、包帯など）
- ラジオ
- 貴重品（現金、通帳、印鑑など）
- ロープ
- ライター・マッチ など



※食料は調理しなくても食べられる非常食品やレトルト食品、缶詰などを用意しておきましょう。

《緊急避難場所一覧》

地区名	避難予定場所			
	第一避難場所	第二避難場所	第三避難場所	
竹中 浜崎 桜戸 染竹 丸岡 中尾	つなぎ文化センター	津奈木小学校	/	
古中 倉谷 内野 上下門		津奈木中学校		
新川 古川	農業就業改善センター			
大泊 川内	津奈木中学校	つなぎ文化センター		
町中	B & G 体育館	農業就業改善センター		
小津奈木				
日当 日添	赤崎漁村センター※	旧赤崎小学校		日当高台（町道辻線） 日添高台（広域農道）
辻		平国コミュニティセンター※		
福浦	福浦公民館			福浦高台
平国上 平国下	平国コミュニティセンター※	平国小学校		

※災害の種類によっては対象外となる避難施設です。避難所を指定する際は有線放送などでお知らせしますので、避難場所の確認をお願いします。

災害前にやっておきたい

4カ条

一. 危険箇所を知ろう

大雨になったとき、あなたの家の周りは安全ですか。家の周りや地域を見回って、危険な個所がないかチェックしておきましょう。

一. 避難場所や避難方法を確認しよう

各地区ごとに指定された避難場所があります。左表を見て、避難経路・避難場所を再度確認しておきましょう。

一. 非常用品の準備をしよう

災害が発生すると慌ててしまい、必要なものを忘れてしまいます。避難時に最低限必要なものを確認し、準備しておきましょう。

一. 気象情報をよく確認しよう

テレビ、ラジオ、町の有線放送などで気象予報、災害注意報・警報などに気を配り、情報を収集しておきましょう。